

# Excel 快速 お仕事術

満載!  
業務に役立つ  
実用テクニック



牧村 あきこ  
MAKIMURA, Akiko

第15回

## フォームを使って 内線リストを階層表示しよう

### Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:  
Excel 2000/2002

### Level



### Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥EXCELディレクトリに収録しています。

・PHONELIST.XLS  
今回のサンプル



### Excelデータを 階層表示

Excelにストックされているデータの中には、一件ごとのデータ内の要素同士が親子関係になっているものが意外に多くあります。たとえば、商品を管理するデータベースでは、図1のように、大分類→中分類→小分類と、分類要素が親子関係になっています。

ときには、このようなデータの親子関係を、階層構造で表示したい場合もあるはずです。Excelの関数やデータベース機能を駆使すればできないことはありませんが、かな

り面倒な作業です。このようなときこそ、VBAの登場となります。今回はサンプルとして、内線リストから、部課別の階層構造で内線番号を表示するフォームを作ってみました (図2)。



### プログラムの 概要を整理する

今回作成するプログラムは、次のような前提条件があるものとします。

**条件 1** データの一覧表はシートの左上隅に配置されているもの

図1：フィールド同士が親子関係になっているデータ

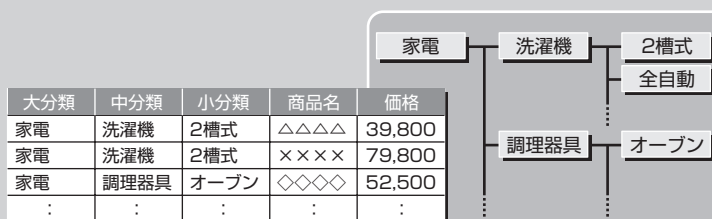
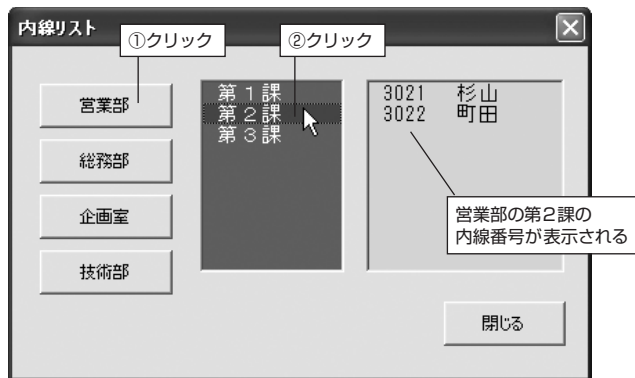




図2：内線番号表示用のフォームを作成

	A	B	C	D	E
1	部	課	内線	代表名	
2	営業部	第1課	3011	代表	
3	営業部	第1課	3012	山田	
4	営業部	第1課	3013	佐々木	
5	営業部	第2課	3021	杉山	
6	営業部	第2課	3022	町田	
7	営業部	第3課	3031	高橋	
8	総務部	人事課	1011	代表	
9	総務部	経理課	1051	小川	
10	総務部	経理課	1052	渡辺	
11	企画室	計画課	5031	佐藤	
12	企画室	開発課	5032	坂下	
13	技術部	開発1課	7011	大山	
14	技術部	開発2課	7012	小林	
15					



とし、1行目は見出し行とする

**条件2** 最低1件以上のデータが入力されている

**条件3** フィールドは左端から組織の「部」→「課」の順で並んでいる

**条件4** データは「部」→「課」の順にあらかじめソートされている

このプログラムでは、条件4に示したようにあらかじめデータがソートされているものとしていますが、実際の利用状況によってプログラムの中に組み込んでしまってもよいでしょう。

続いて、プログラムの仕様は次のとおりです。

**仕様1**▶ フォームには部名が表示されたコマンドボタンを配置し、コマンドボタンを押すとリストボックスに課名が表示される

**仕様2**▶ 課名を選択すると、もうひとつのリストボックスに所属の内線番号と担当者名が表示される

**仕様3**▶ フォームに登録できる部の数は5つまでとする

このフォームでは、部の選択にはコマンドボタンを、課の表示/選択と内線番号の表示にはリストボックスを使っています。フォームに配置するコントロールは、すべてリストボックスでもかまわないのですが、今回はあえて、部の選択をコマンドボタンで行なうようにしました。この理由は後で詳しく説明します。



## フォームの骨格を作る

最初に、内線番号が入力されたワークシートを準備します。このサンプルでは、図2のように、「部」「課」「内線」「代表名」が要素として入力された一覧表を用意しました。部にはひとつまたは複数の課が存在し、課にもひとつまたは複数の内線番号があるデータとなっています。

それでは、フォームの骨格を作ってゆきましょう。メニューから [ツール] - [マクロ] - [Visual Basic Editor] を選び、Visual Basic Editor (以下VBE) を起動します。

メニューから [挿入] - [ユーザーフォーム] を選び、新しいフォーム追加します。フォームにはリストボックスを2つ、コマンドボタンをひとつ配置し、コントロールやフォームの大きさは適宜調整してください (図3)。なお、フォームの左端には後々、部を選択するためのコマンドボタンが並びますので、リストボックスの位置はやや右寄りに配置します。

また、コントロールを配置したら、フォームとコマンドボタンのCaptionプロパティを、「内線リスト」と「閉じる」に変更し、リストボックスのFontやBackColorなどを適宜変更してください。



## 部の選択用ボタンを配置しなかったワケ

先ほど作成したフォームには、部を選択するためのコ